

アイシネン
吹き付け施工のICYNENE
アイシネン現場監督の
みなさまへ

直前準備 — ココまでお願いします

準備1：配線配管は固定

配管、配管、コンセントはすべて固定。ゆるいとアイシネンの膨張力で外れます。後日の掘り返しは厳禁。



準備2：通気層、気密シート 不要？

仕上げ材（屋根、外壁）や下地板の種類や厚さ、施工地域によって異なります。当社が防露計算します。早めにご提示ください。



準備3：窓の取り付け

窓はすべて取り付けてください。サッシ枠と開口部の数ミリのすき間にも断熱材を埋めるからです。



準備4：防水シート

アイシネン施工後、雨水が外壁下地合板を通して浸入すると壁内に残ります。防水シートはすべて張り終えてください。



準備5：基礎高=最低45cm

床下を下から吹く場合、基礎高は最低45cm。床根太の間に受け板を敷いて上から吹くこともできます。



準備6：一階床下地合板は仮止め

基礎や床下の断熱では、作業員がもぐれるよう下地合板を仮止めもしくは外しておいてください。



準備7：吹き抜けの足場

吹き抜けには足場を用意願います。屋根や外壁から50cm離してください。



準備8：ベランダ防水工事

ベランダの防水工事も完了願います。「防水シート」と同じ理由で、ベランダから雨水が浸入して壁内に溜まってしまう恐れがあります。

準備9：石膏ボード木下地

事前に打ちつけておいてください。アイシネン吹き付け後では削り落とす作業が発生します。



準備10：天井野ぶち、吊り木は待つて

天井の野ぶちや吊り木は待つててください。施工者が屋根裏に近づけず、作業ができなくなります。



準備11：すき間や空間はふたを

屋根に近い壁上部や窓枠には大小の空間があります。断熱ボードやベニヤでふさいで下さい。



準備12：屋根垂木の背幅

垂木の背幅は、吹き厚に近い寸法で。吹き厚161ミリなら垂木の背もほぼ同寸で。浅いとアイシネンの張り付きが不安定に。



準備13：部材は外壁から1m離す

製材や石膏ボードなどは外壁から1m離しておいてください。吹きつけ作業ができません。



準備14：部材・工具はひとまとめ（養生）

建材や工具等は各部屋の中央に集めてください。当社作業員が養生シートで被います。アイシネン飛沫の付着防止です。



準備15：道路占用許可（警察への届け）

2トントラックが横付けできるように願います。「道路占用許可申請」やガードマンが必要か、確認。トラックのサイズcm：長さ571、幅188、高さ300

アフター篇：作業承諾書の署名

作業終了時に、現場確認の上、責任者による作業内容（吹き厚、すき間、汚れ、清掃）の承諾をいただきます。後日のクレームは対応できません。

上記の準備が不十分で、吹き付け作業が遅延・延長となった場合は、別途負担分を請求することがあります。ご不明な点がございましたら、弊社営業担当者に問合せ願います。貴社担当： まで

本社（千葉）047-320-5111 東京分室 080-3459-3681 埼玉営業所 048-420-9128

首都圏断熱(株)

www.mahoubin-juutaku.com
首都圏からすき間をなくす魔法瓶住宅